



神道(十一)(大和世界の建設)

古事記

宇宙の創始

— ロゴス「Logos」 —

竹葉 秀雄

第 31 号

月 1 回 発行

ひの心を継ぐ会

〒799-1336

住所: 愛媛県西条市

上市甲 720-1

綱 領

- 私達は明德を明らかにします
- 私達は国家の鎮護となります
- 私達は大和世界を建設します

こう書いてある、「はじめに言葉ありき」と。

すでにここで、おれはつかえてしまう。誰の助けをかりて先へすすめばいいだろう。

おれは言葉をそんなに高く評価することができぬ。

何とか別の訳し方を考えずはなるまい。

おれの心が霊の光に照らされているなら、うまくできるかもしれない。

こう書いてある、「はじめにこころありき」と。

軽率に筆を下さぬように、

第一行を慎重にしなければならぬ。

あらゆるものを作り出し、あらゆるものを生動させるのが意だろうか。

むしろ、こう書いてあるはずだ、「はじめに力ありき」と。

しかし、紙の上にそれを書いているうちに、

どうやらそれも不完全なような気がしてくる。

霊のたすけだ！おれはとっさに思いついて、

安心してこう書く、「はじめに行いありき」と。

おれは新約の啓示ほど、

尊く美しく光りかがやいているものはあるまいと思う。

さっそく原典をひらいて、

素直な感じのままに

神聖な本文を

おれの好きなドイツ語に訳してみよう。

(一冊の書を開いて、翻訳にとりかかる)

## 第三章 農民生活の倫理的考察

菅原 兵治

## 第三節 老農的態度

## 茄子の味

随つて此の境地に至つた老農の言行には、未だ此処に至らぬ者より見れば理解し兼ねるような事が往々にしてあるであらう。報徳記巻二第四章に二宮翁が茄子の味によつて凶年を予知したことが書いてある。

「時に天保四癸巳年初夏時氣不順にして霖雨止まず。先生或時茄子を食するに其の味常に異なり恰も季秋の茄子の如し。箸を投じて嘆じて曰く、今時初夏に当れり。然して此物既に季秋の味をなすこと豈唯ならんや。是を以て考うるに陽発の氣薄くして陰氣既に盛なり。何を以て米穀豊熟することを得ん。予め非常に備えずんば百姓飢渴の憂にかからんか。是を以て三邑の民に令して曰く、今年五穀熟作を得ず、予め凶作の備えを為すべし。一戸毎に畠一反歩、其の貢税を免すべし。速かに稗を蒔き飢渴を免るるの種とせよ、忽にすべからずと。諸民之を聞き笑いて曰く、先生明知ありと雖も何ぞ予め年の豊凶を知らんや。戸毎に一反歩の稗を作らば三邑夥多の稗なるべし。何れの処に之を貯えん。且稗なるもの旧来貧苦に迫れりといえども未だ之を食わず。今之を作りたりと食うことも得ず。然らば無用のものと云うべし。仮令人に与るといへども誰か之を受けん。詮なきことを令するものかなと嘲りたり。然れども貢をゆるし作らしむ。之を背ば必ず令を用いざるの咎めあらんと。已むことを得ずして俄かに稗を作り、無益の事をなせりと怨望するものあるに至る。然るに盛夏と雖も、降雨多くして冷氣行われ終に凶歳となり、関東奥羽の飢民枚挙すべからず。此の時に至り三邑の民稗を以て食の不足を補ひ、一民飢に及ぶものなし。始めて先生の明鑑予め凶荒を計り、下民を安んずるの深意を知り、我が知の浅きを悟り、曾て無益の事となし活命の令を嘲りたるを悔い、大いに其の徳を称す。云々」

韓退之も「世に伯楽有り。然る後に千里の馬有り」といっているが、馬の毛色や牝牡というが如き外形的分析的穿鑿の域を脱して、名馬の本質そのものを端的につかむ処に伯楽の伯楽たる所以があるのであるが、二宮尊徳の茄子の味によつて凶荒を予知せるなども、農道的伯楽の観があるではないか。

## 日本人の真面目さ

三浦 夏南

日本人は真面目な民族だと一般的に言われている。嘘の付けない清く明るい人間性を持つことが古代からの伝統であることに間違いはないであろう。しかしながら今の日本人の真面目さというのは古人の言つたところの真面目であるかどうかという点甚だ疑わしい部分がある。現代の真面目さというものは上辺だけの大勢順応的な取り繕いの真面目さであつて、そこには日本人が古来大切にしたところの清明心は却つて見られないと思ふ。古事記を紐解くと、現代の基準から言えばこれは卑怯ではないのか、武士道精神に反するのではという箇所がいくつも見受けられる。古事記を称賛する保守的な人々もその点に関しては敢えて触れず、現代にも受け入れられる神々の美談ばかりが抽出して語られる。しかしそれは古事記を読む我々の心が低く弱いためにそう感ずるのであつて、決して古事記の責任ではないのである。弱者は強者の振る舞いに恐怖し、理屈で以つて対抗するが強者はそのようなことにお構いなく子供のような純真を以て弱者を粉砕する。我々が古事記に狡さを感じるのであれば、自らの内にある弱さを反省しなければならぬ。いくつか古事記の中から例を挙げるとヤマトタケルノミコトの御話が分かりやすい。ヤマトタケルノミコトは反乱のご征伐に当たつて女装をなさつて、敵陣に潜入し、賊の隙を突いて瞬く間に打ち取られた。また違う戦いにおいては偽りの交友をお結びになつて油断させ、真剣と木刀をすり替へることにより不意を突かれた。遡ればあの神武天皇も敵軍を招待し食事をもてなすと見せかけて、天皇の御歌に合せて不意に襲い掛かり、賊を一網打尽にされたのである。スサノオノミコトも八岐大蛇のご征伐では正面から戦うことをよしとされず、酒で以つてもてなし、酔つて眠つたところを何の危うげもなく打ち取られたのである。もちろんこれらの御話は神事と計略の結合した聖なる振る舞いとして記されているのであつて、決して卑怯ではあるが、勝つためには仕方なかったという記され方はしていない。ヤマトタケルノミコトも先述の女装された戦いに於いて打ち取つたところの賊長よりヤマト神々の御事績に対して現代の日本人が身構えてしまうことが、我々の弱さを端的に表している。斯くの如き大勇猛、大知略を喜ばずして、世間的に喜ばれる程度の、

ルールに違わない範囲内での真面目ばかりが重視され、そのような人間を真面目な良い人と呼ぶようになったのではないか。論語の中に親が罪を犯した時にそれを正直に告げる子は孝行の人間ではなく、親の罪を隠す子こそ誠の心を持った子であるといった趣旨の言葉があるが、現代の人々はまさしくルールから外れず親を売るタイプの似非真面目人間である。西洋より押し付けられた資本主義的枠組みの中で真面目に逆らわず働きはするが、大義を胸に西洋を欺き、自らの伝統に沿った経済社会を創造しようとは考えないのが現代人の思考である。我々は偽装の真面目さの陰に隠れて自らに言い訳ばかりを繰り返す弱者の思考を捨て、純真に時に破天荒に勝利の道を神の如く進む強者であらねばならない。

### とよくも農園だより

秋も深まり、村中を黄金色に彩っていた稲も次々に刈られています。稲木干しをしている農家はわずかになりましたが、日差しを浴びながら涼しい風にふかれて気持ち良さそうに干されている稲の姿は秋の季節にぴったりで、見るに心地の良い風景です。

### 三浦 杏奈

今月は、先月に引き続き里芋の収穫が主な仕事となりました。先週から三圃場目にさしかかり、作業にも慣れてきたので効率が上がリ、一日に出荷できる量が、九月に出荷していた時の倍以上になりました。先月までは、根切り作業のほとんどを手で行っていましたが、今月に入ってから、地上の茎が枯れ始めて根が弱ってきたので、里芋についている根も、「毛羽取り機」という機械で簡単にとれます。この機械を導入することで出荷作業にかかる時間が大幅に短縮されました。年内に全圃場の里芋を掘り上げることを目標としているので、引き続き毎日コツコツと進めたいと思います。

今年の里芋の収穫と同時に、来年里芋を作付けするための圃場の確保も同時進行で進めています。里芋は連作障害が出やすいため、前年と同じ圃場で里芋を作ることは出来るだけ避けたいと考えています。来年から土地をお借りする地主さんにお会いすると、すぐに手続きを進めて貸してくださる方もいれば、お家に招き入れてくださり、懇切丁寧にその土地や家族の歴史を話してくださる方もいらっしゃいます。どんな土地であっても、

ご先祖様が汗水流し、様々な思いで田畑を耕し、今日まで受け継がれてきたことには変わりありません。骨の折れる作業が続くと、そういった感謝の気持ちや、天地自然の神々・大地から恩恵を受けているという事実を忘れがちですが、毎朝・毎



晩の参拝の時には心を落ち着け、そういったことを思い出し、誠実な気持ちで農業に取り組みたいと思います。

今年も残すところあと二ヶ月となりました。来月からは里芋の収穫に加えてネギの収穫も始まり、アスパラの刈り取り・伏せ込みの準備も始まるので大忙しの年末になりそうです。寒くなるので健康に気を付け、家族一致団結してこの繁忙期を乗り越えたいと思います。

### ★今後の予定

来月も、今月に引き続き勉強会は休止致します。復帰の目途が立ちましたら、本稿にてご連絡差し上げます。

### ★一燈照偶 万燈照園

ひの心を継ぐ会は竹葉秀雄・近藤美佐子両先生の精神を継承し、発展させることを目的として生まれた会です。一人の「ひ」の精神が周囲の人々の心に「ひ」を燈し、やがてそれが国を照らす「ひ」になることを願い、活動を行っております。皆様には何卒ご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

### ★年会費

- ・一般会員 三千元
- ・賛助会員 一万円
- ・特別賛助会員 三万円
- ・支援会員 一万円

### ★お知らせ

新型コロナウイルス感染症が流行している状況を受け、参加者の健康と安全を最優先に考慮し、醒庵忌の開催を中止することといたしました。